

第6次山形市農業振興基本計画 体系図

現状・課題

基本理念

基本目標

施策

取り組み

市民の食とくらしを守る

メインテーマ

美味しい山形の発信と未来につなげる元気な農業の創造

- ・収益性の低さ
- ・ランニングコストの増加
- ・安全・安心な志向の高まり
- ・消費者の米離れ
- ・販売ルートが多様化
- ・担い手・後継者不足
- ・高齢化の進行
- ・過疎化の進行
- ・鳥獣被害の増加
- ・耕作放棄地の増加
- ・異常気象の頻発
- ・6次産業化のハードルの高さ
- ・多種多様な農産物の生産
- ・農産物に適した気象条件
- ・産地と県内最大の消費地が隣接
- ・居住環境が恵まれている

持続的に発展する農業の確立

農業経営体の育成・確保

- 認定農業者の育成・確保
- 次世代を担う後継者及び新規就農者の育成・確保
- 就農によるUIターン者の移住・定住の促進や壮年層の就農支援の推進
- 農地所有適格法人等の育成・確保
- 農業経営基盤の強化
- 労働力の確保

安全・安心で安定的な農畜産物の生産

- 品質が確保された安全・安心な農畜産物の生産
- 安定した生産量の確保

競争力のある農業の確立

- マーケットを意識した農畜産物の生産
- 省力化・低コスト化の推進
- 新たな品目への取り組み
- 国内外への販路拡大
- 優良農地の保全

農業・商業・工業等の連携による新たな価値の創造

- 6次産業化の推進
- 新たな地域ビジネスの創出に向けた農商工等の連携強化

地域の「強み」を活かした農林業の確立

作物別の振興

- 消費者ニーズに合った米づくりの推進
- 土地利用型作物の安定生産
- 野菜・果樹・花きの生産振興
- 畜産の振興

中山間地域の振興

- 持続的な担い手の確保
- 地域の「強み」を活かした農業の振興
- 鳥獣被害防止の推進

環境にやさしい農業の推進

- 多面的機能のさらなる推進
- 環境にやさしい農業の推進
- 多面的機能のさらなる推進（再掲）
- 森林の活用・保全

市民と農業をつなぎ健康で笑顔溢れるくらしの確立

食育・地産地消の推進

- 食育・地産地消の推進
- 都市型農業の「強み」を活かした出荷の推進

市民と農との交流

- 農業とのふれあいの推進

- 認定農業者の経営メリット（優遇措置）の普及・啓発
- 認定農業者の経営力の向上
- 認定農業者の連絡協議会等の活動促進
- 農業経営改善計画の達成促進
- 後継者育成事業の推進
- 新規就農者の研修受入組織の整備
- 関係団体と連携し新規就農者の確保
- 後継者・新規就農者が育つまでの支援体制の整備
- 移住・定住者の就農促進
- 壮年層の就農促進
- 首都圏等での就農PRの強化
- 集落営農の促進
- 地域の実情に応じた法人化の促進
- 農地所有適格法人等の連携強化
- 経営安定化に向けた複合経営の促進
- 農地中間管理機構や農業団体と連携した農地集積・集約の促進
- 女性の農業経営参画の推進
- 作業ピーク時の労働力の確保
- 各種GAPの取得促進
- 減農薬・無農薬・有機栽培等の農産物の高付加価値化の推進
- 戦略農産物の団地化による農産物生産体制の確立
- 水田畑地化の促進
- 作業ピーク時の労働力確保（再掲）
- 良質な土づくりの促進
- マーケット調査に基づく消費者動向の把握
- 戦略農産物の決定による産地形成の推進
- 新たな戦略農産物の決定
- 農畜産物のブランド化の推進
- 労務軽減と労働時間短縮のための技術導入促進
- 野菜・果樹等の団地化の促進
- 省エネルギー仕様施設の導入促進
- 農地中間管理機構や農業と連携した農地集積・集約の促進（再掲）
- 新たな戦略農産物の決定（再掲）
- 戦略農産物の決定による産地形成の推進（再掲）
- 品目の特性を踏まえた戦略販売の推進
- 各種GAPの取得促進（再掲）
- 首都圏等の大消費地への販路拡大
- 農用地の適正な保全・管理
- 耕作放棄地の発生防止と利活用の推進
- 生産基盤等の整備・維持管理
- 国土保全や景観形成などのための農村環境保全の促進
- 6次産業化の推進
- DMOとの連携強化
- 加工食品への出荷促進
- 郷土料理や伝統野菜などの全国へ情報発信
- 道の駅との連携
- 高品質で競争力のある米づくりの推進
- 需要量に応じた生産
- 新たな品種の導入推進
- 水田畑地化の推進（再掲）
- 団地化及び大型機械の導入の促進
- 戦略農産物の生産振興
- イベント等における消費拡大PRの強化
- 老朽施設長寿命化の推進
- 野菜価格安定制度の推進
- 優良種の導入や人工授精などによる家畜改良の促進
- 家畜防疫対策の強化
- 「山形牛」のさらなるブランド化の推進、PR強化
- ゆとりある労働環境の推進
- 環境に配慮した畜産の促進
- 多様な担い手の確保
- 地域の「強み」を活かした戦略農産物の促進
- 地域の特性に合った技術導入
- 農地中間管理機構や農業団体と連携した農地集積・集約の促進（再掲）
- 鳥獣被害防止の推進
- 国土保全や景観形成などのための農村環境保全の促進（再掲）
- 地域共同作業による保全・管理の促進
- 耕作放棄地の発生防止と利活用の推進（再掲）
- 環境保全型農業の推進
- 減農薬・無農薬・有機栽培等の農産物の高付加価値化の推進
- 国土保全や景観形成などのための農村環境保全の促進（再掲）
- 地域共同作業による保全・管理の促進（再掲）
- 森林の活用・保全
- 食育・地産地消の推進
- 直売所等の活用・促進
- 農に関するイベントの開催
- 農業体験受入体制の整備促進
- 農業サポーター制度の推進